

令和7年第4回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	1	質問者	滝 口 伸	発 言 時 間	答弁を求める者
質 問 事 項		質 問 の 要 旨			
		ふるさと納税制度の活用について	<p>本町へのふるさと納税寄付金は、寄付者の厚意と関係各位の尽力により増加し、基金残高も順調に積み上がっている。</p> <p>本制度を町の発展と町民サービス向上に戦略的に活かすため、以下の点について伺う。</p> <p>1　ふるさと納税基金の活用方針について</p> <p>寄付金は安定財源とは言い難く、基金の取り崩しには慎重であるべきとの意見もあるが、現状の基金残高や寄付額の推移を見ると、一定程度は取り崩し額を拡大し、効果的に活用する余地があると考える。</p> <p>そこで、今後の基金活用方針や具体的な考え方について伺う。</p> <p>2　財政の柔軟性向上に向けた活用について</p> <p>寄付者の意向に配慮しつつ、基金を充当する事業を適切に拡大すれば、一般財源全体に余裕が生まれ、優先度の高い施策に予算を振り向けやすくなると考える。</p> <p>そこで、ふるさと納税の活用方法を工夫し、財政運営の柔軟性を高める考えが</p>	40分	町長

	<p>あるか伺う。</p> <p>3 町内産業と返礼品供給体制の強化について</p> <p>制度を持続的に活用するには、町内産業が発展し、返礼品やサービスを安定供給できる体制が必要である。</p> <p>そこで、返礼品事業者や町内産業への振興策、また今後の支援拡充の考えについて伺う。</p>		
--	--	--	--

令和7年第4回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	2	質問者	松 田 順 一	発 言 時 間	答弁を求める者
質 問 事 項		質 問 の 要 旨			
		義務教育学校の建設中止後の政策課題について	<p>昨年末以来、義務教育学校の建設の是非について二転三転したが、本年5月20日の全員協議会で、町側は財政的に厳しくなるということで、義務教育学校の建設を断念するとした。その後、9月の定例会の一般質問では、財政状況等を含めて再度検討するとの答弁をされている。</p> <p>現状、義務教育学校の建設中止で町のまちづくりに弊害が出ているものと思われるが、今後どのような方向性を考えているのか伺いたい。</p>	30分	町 長

令和7年第4回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	3	質問者	我 妻 耕		発 言 時 間	答弁を求める者
			質 問 事 項	質 問 の 要 旨		
1	月形町の財政状況の現状把握と次年度の事業展開について			<p>1 月形町の財政状況について、町長は現状をどのように捉えているのか。</p> <p>2 第5次月形町振興計画に基づき事業を進めるものと思うが、現状を踏まえた上で、次年度からの着手、展開、取り組みをどのように考えているのか。</p>	30分	町 長
2	月形高校の入学者20名確保への取り組みについて			<p>10月8日の「月形高校地域説明会」において北海道教育庁の担当者からの説明にあったように、入学者20名以上の確保が月形高校の存続の条件と捉えたが、次の点について伺いたい。</p> <p>1 説明会後の入学者確保の取り組みはどのようにになっているのか。</p> <p>2 地域みらい留学生のための寮の整備や公設塾など在校生へのケア等、新たな必要性や要望が出てきていたが、それらについての取り組みはどのようになるのか。</p>	30分	教育長 町 長

令和7年第4回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	4	質問者	金子廣司	発言 時間	答弁を 求める者
質問事項		質問の要旨			
1	今後のまちづくりの推進について		<p>義務教育学校のあり方、今後の月形温泉のあり方、老朽化した建物の解体、役場庁舎の建て替え、さらには、月新水道企業団の施設の建て替え等、我が町の課題は山積している。</p> <p>こうした課題に取り組み、着実にまちづくりを進めていくためには、町長のリーダーシップはもとより、各課の横の連携が重要と思われるが、町長は今後どのように進めていくつもりなのか。</p>	60分	町長
2	町の防災備蓄倉庫の現状について		<p>現在の防災備蓄倉庫は、立地、備蓄品の保管状況など、災害時の対応に不安を感じるが、町長は現状をどこまで把握しているのか。</p>	15分	町長